

令和7年度第1回川南町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和7年5月1日（木）午後2時～午後2時30分

2 場 所 川南町役場本館2階 応接室

3 出席者 宮崎吉敏町長

平野博康教育長、椎木祐司教育長職務代理者、本多京子委員、

内倉由美子委員

三好益夫教育課長、村中田博教育対策監、橋口実課長補佐、

古小路祐一郎指導主事

○橋口

ただ今から「令和7年度川南町第1回総合教育会議」を開会します。まず初めに、宮崎町長より御挨拶をお願いします。

○町長

本日、基本方針を示されるということで、これまで統合については、町民からも大方同意を得られているものと考えています。手法について、様々な意見があります。子どもたちにより良い教育環境を提供することが、私たちに課せられた責任だと考えていますので、教育委員会としてしっかりと考えていただき、進めていただけたらと思います。本日はよろしくお願いします。

○橋口

ありがとうございました。続きまして、3、協議に入ります。本来であれば、総合教

育会議は、町長が招集することとなっていますので、町長に会議の議長をお願いするところですが、本日の会議は、先ほどの臨時会で決定した基本方針の報告となっておりますので、私の方で進めさせていただきます。

それでは、教育長より概要の説明をお願いします。

○教育長

先ほど、教育委員会臨時会を開催しました。その中で、「川南町立中学校の統合に係る基本方針の策定について」の議案が可決されましたので、報告をさせていただきます。内容につきましては、資料のとおりとなっております。2ページにあります基本方針を読み上げさせていただきます。「中学校については、生徒数の減少に伴う学校規模の適正化、教育の質や教育環境の充実等の観点から、唐瀬原中学校と国光原中学校を統合して新中学校を整備し、子どもたちにとってのよりよい教育環境づくりを早急に進める必要がある。

その際、既存の中学校の敷地を活用して新中学校を整備するより、町中央部に新中学校を新規整備する方が、子どもたちによりよい教育環境を提供することが期待できる。小学校についても、児童数が減少しており、いずれは統合をしなければならないと考えるが、小学校と地域のつながりや地域住民の理解等を考慮すると、早急な統合は難しいと判断する。

以上のことから、中学校については、唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町中央部に新中学校を新規整備する。小学校については、どのような統合の在り方がよいのか、段階的な統合や小中一貫校も視野に入れながら、今後具体的な検討を進めていく。」

このような基本方針を定めさせていただきました。これ以降は、この基本方針に至った理由を記載しております。私からの報告は以上です。

○橋口

町長から御意見をお願いします。

○町長

内容については、特にありません。今後、どのように進めていくのかが問題になるのかと考えます。できる限り早く子供たちにこの方針にある教育環境を提供できるようによろしくお願いします。私からは以上です

○橋口

ありがとうございます。教育委員の皆様からは何か御意見はありませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

○橋口

それでは、3、協議を終了します。4、その他に入ります。何か御意見はありませんか。

○教育長

今後の動きについて、まず1点目は開校に向けてどのような手順を踏んでいくのかというスケジュールのこと。2点目は、中学校のソフト面、ハード面の具体的な姿を示すこと。3点目は、この基本方針を町民の方にどのように周知し、理解してもらうのかということ。4点目は、同時進行で小学校の統合について検討すること。以上4点について、教育委員会で議論していかなければならないと考えています。

○町長

前回、新設しないとなった大きな要因は、投資額だったのでないかと考えています。

これから検討されるに当たっては、適正規模を考え、町民の皆様に理解されるような計画にしなければならないと思います。これからの時代のニーズに合った造りにしていくとともに、既存施設で使えるものは有効に活用し、コスト縮減に努めなければなりません。どうぞよろしくお願いします。

○橋口

ありがとうございました。その他意見が無いようですので、以上をもちまして令和7年度川南町第1回総合教育会議を終了します。お疲れ様でした。

上記は、令和7年度第1回川南町総合教育会議のてん末に相違ないことを証明する。

令和7年 5月23日

川 南 町 町 長



川南町教育委員会 教育長

